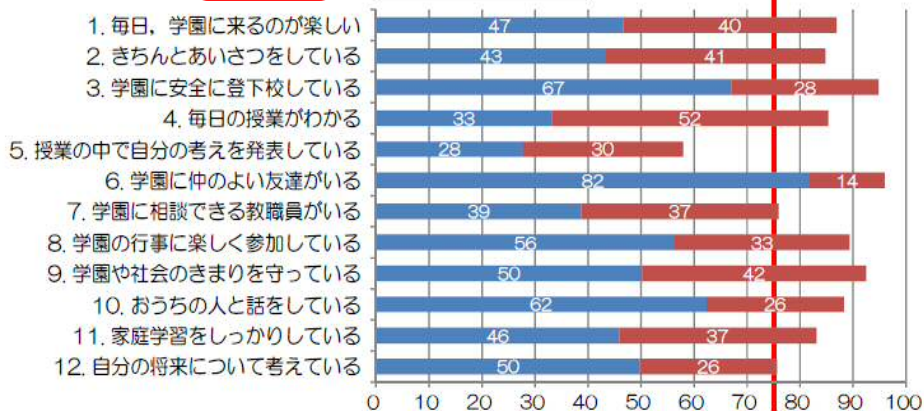


後期学園評価アンケート結果

平成28年
1月実施

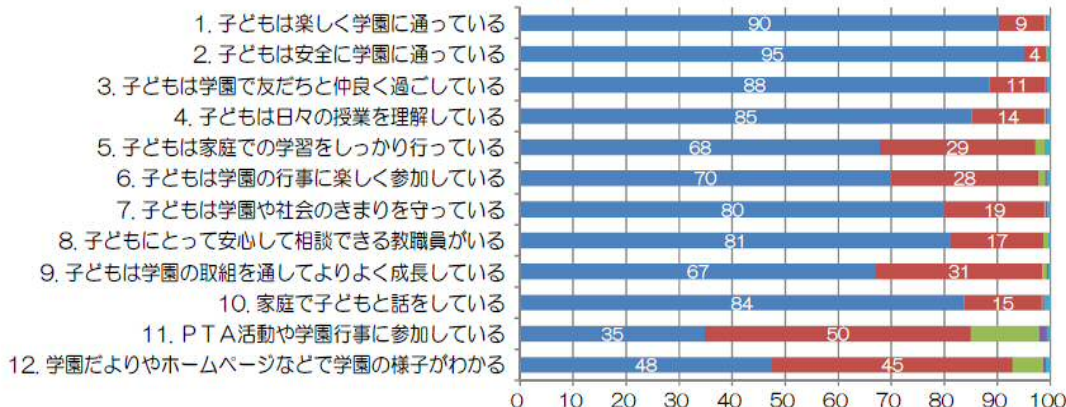
学園生

適合度

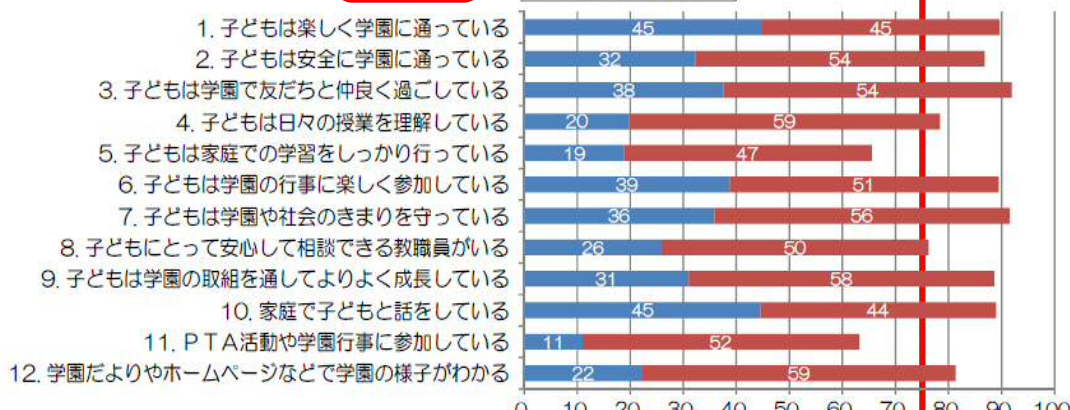


保護者

重要度



適合度



《結果の見方について》

- ・学園生は適合度のみ、保護者は重要度と適合度についてアンケートを実施しました。
- ・適合度については肯定的な回答のみをグラフ化し、75%を判断の基準としています。

《結果をもとにしての考察》

- ・学園生については、「5. 授業の中で自分の考えを発表している」が前期の結果と同様に肯定的な回答が大きく下回っていました。ただ、この項目も含めて前期に低かった項目については、今回、わずかながら肯定的な回答が増えています。本学園の重点指導方針として「言語活動の充実」を挙げていますが、その成果が少しずつ表れてきていると捉えています。しかし、これに甘んじることなく、今後も自分の思いや考えを自分のことばで語れる姿をめざしていかなければならないと考えています。
- ・保護者アンケートについては、「5. 子どもは家庭での学習をしっかりとっている」「11. PTA活動や学園行事に参加している」の適合度が前期と同様に低い値でした。しかし、この項目についても前期と比較するとやや肯定的な回答が増えています。自由記述欄では、中でも交通安全に関わるご意見を多くいただきました。現在、地域やPTAのみならずにはたいへんご尽力いただいておりますが、一層の連携及び多くの保護者の方々にご協力を呼びかける中で、子どもにとって安心で安全な環境づくりをめざしていきます。

保護者のみなさまには、アンケートにご協力いただきありがとうございました。今回提出いただいたアンケート用紙は606枚で、前期よりも高い回収率でした。これは、保護者のみなさまの学園教育への関心の高さだと捉えております。また結果としては、前回と同様におおむね肯定的な回答が多く、自由記述欄でも激励のおことばをいただくこともありました。しかし、課題も少しずつ浮き彫りになってきています。学園運営協議会においても、「風」と「土」とがうまくまじり合い、暖かい風となって花を咲かせるように、学園教職員と地域・保護者のみなさま方が深い連携の下、子どもと共に周りの大人も成長できる学園づくりに期待が寄せられました。これらのことを踏まえ、さらなる教育活動の充実にあたっていきたいと思います。次年度も引き続き、本学園教育にご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。